



平成30年3月29日

プレスリリース

四国森林管理局

四国森林管理局のコンテナ苗の需要見通しの公表について

多くの森林が主伐期を迎える中で、四国森林管理局では、平成28年度から、主伐・再造林の一貫作業によるトータルコストの削減の取組を積極的に推進しています。平成29年度は一貫作業を高知県の4地区で実施しましたが、平成30年度は四国4県の10地区で拡大実施します。

この一貫作業には、通年植栽が可能なコンテナ苗を使用します。平成30年度は四国森林管理局の苗木調達量の全量の前年度の2倍の47万本を導入します。併せて、コンテナ苗を安定的に生産していただけるよう、新たに四国森林管理局のコンテナ苗の平成30年度から32年度の3カ年分の需要見通しをとりまとめ、公表いたします。

1 これまでのコンテナ苗の使用量

(単位：万本)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
コンテナ苗 使用量	1	1	6	19	23
全苗木使用量に 対する割合	2%	4%	18%	49%	100%

(注) 平成23年度はコンテナ苗を800本使用。

2 今後の需要見通し

(単位：万本)

	H30年度	H31年度	H32年度
スギ	14	13	6
ヒノキ	33	32	53
計	47	45	59

(注) 上記需要見通しは、立木販売・請負事業の状況等により、変動することがある。



お問い合わせ先

四国森林管理局森林整備部森林整備課

担当：鷹野 TEL088-821-2200